

miratap

アルミフレーム建具

クアドロスリム 2枚引き分け引き込み

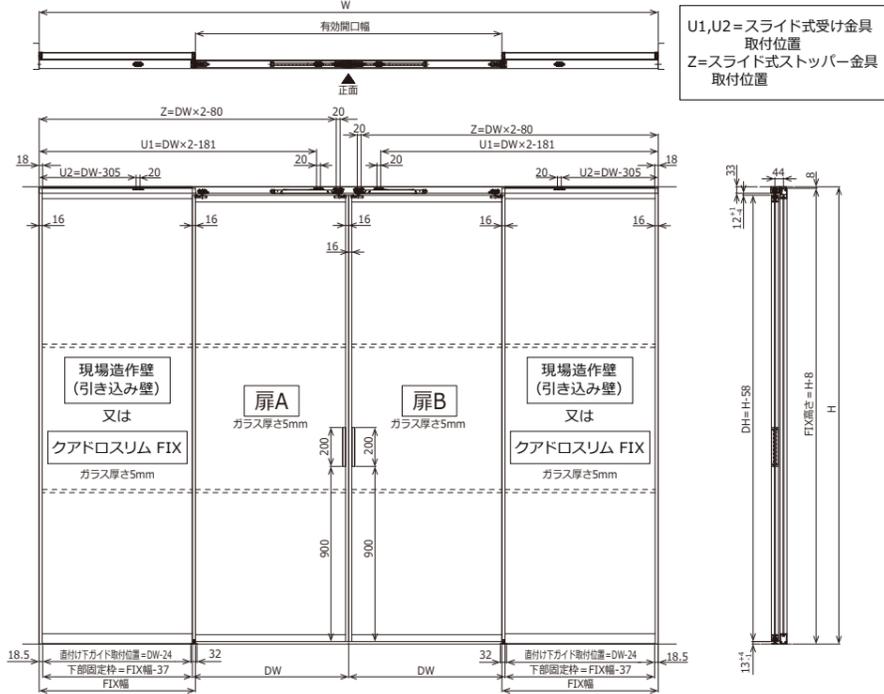
取扱説明書（保証書付）（DW803/DW1200）
組立設置説明書 04-QD30T-15

本体や機器に付属の取扱説明書は、設置完了後にお客様にお渡しください。

- ❑ 施工の前に、本説明書をよくお読みの上、正しく取付けてください。
- ❑ 本製品は住宅およびそれに準じる居住空間に使用するインテリア専用部材です。他の用途へのご使用はおやめください。
- ❑ 屋外および浴室など水分と接する部位には使用しないでください。

▲は正面側を示す。

| | 特注S (DW750~802) | 標準 (DW803) | 特注L (DW804~1199) | 幅広 (DW1200) |
|--------|---------------------------|----------------------|---------------------------|----------------------|
| 開口寸法 | W2968~3176 ×H1500~2500 | W3180 ×H1500~2500 | W3184~4764 ×H1500~2500 | W4768 ×H1500~2500 |
| 推奨下地荷重 | 150kg(max) | 150kg(max) | 150kg(max) | 150kg(max) |



●安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害、物損)に結びつくおそれがあります。必ずお守りください。

🚫 禁止 🗨 実行 ⚠ 注意
お守りいただく内容を上の記号で区分し、説明しています。

- 「2人以上で作業する」
1人作業では商品の落下などによりケガをするおそれがあります。
- 「必ず付属の金具・ビス・ネジにて施工する」
商品を実際に固定できず、破損・落下によりケガをするおそれがあります。
- 「ビス・ネジの固定し過ぎ/固定に注意する」
ビス・ネジを固定する場合は、電動ドライバーなどでの締めすぎによる空回り、頭つぶれのないようにする。守らないと、扉などが落下してケガをするおそれがあります。
- 「下穴をあけてから、ビス・ネジで固定する」
下穴がないと材が割れたり、ネジ切れするおそれがあります。
- 「上固定枠は天井面の躯体へ確実に固定する」
確実に固定しないと、落下してケガをするおそれがあります。
- 「レールは天井面の躯体へ確実に固定する」
確実に固定しないと、落下してケガをするおそれがあります。

⚠ 警告

「死亡または重傷を負うおそれがある」内容

- 🚫 本製品は一般住宅の室内用間仕切り扉、又はFIXです。他の用途へのご使用はおやめください。
- 🚫 扉本体にぶら下がったり、寄りかかったり、ぶつかったり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- 🚫 Z=スライド式ストッパーによりケガをするおそれがあります。特に小さなお子様はご注意ください。
- 🚫 ビス・ネジが緩んだ状態で使用しないでください。金具などに負担がかかり扉が開かなくなるおそれがあります。
- 🚫 分解・改造、加工は絶対にしてしないでください。思わぬ事故やケガにつながります。
- 🚫 この製品は耐火構造ではありませんので火の気の近くでのご使用は避けてください。
- 🚫 扉表面に吸盤フック等の使用や、横棧部分等の使用による、物の吊り下げをしないでください。
- 🚫 扉を傷つけたり、扉の落下によりケガをすることがあります。
- ⚠ 定期的にビス・ネジの締め直しを行ってください。

⚠ 注意

「障害を負うことや物的損害が発生するおそれがある」内容

- 🚫 扉と床との隙間及び、扉と扉の隙間に手や指を入れないでください。指の挟み込みやケガをするおそれがあります。
- 🚫 本体を勢いよく開閉しないでください。本体の破損や指の挟み込みでケガをするおそれがあります。
- 🚫 扉に粘着テープでポスターなどを貼らないでください。表面がいたむおそれがあります。
- 🚫 部品に潤滑油やグリスを注さないでください。部品の割れや変形、変色を生じるおそれがあります。
- ⚠ 暖房器具などから発生する熱風・熱気が直接当たらないようにしてください。また、ストーブや照明などの熱源に近づけ過ぎないでください。変形・変色などの原因になります。
- ⚠ 扉を動かす際は間仕切り部分に障害物がないか確認の上、ゆっくりと動かしてください。急に動かすと思わぬ事故につながり危険です。
- ⚠ 扉の下に物を挟まないようにしてください。扉が持ち上がり、本体の脱落の原因になるおそれがあります。
- ⚠ 扉の調整には必ず手回しドライバーを使用してください。電動ドライバーを使用すると破損の原因になります。
- 🚫 本体に開閉方向以外の力を加えて操作しないでください。本体がガイドピンから外れるおそれがあります。万一外れた場合は、すぐに正常な状態に戻してください。
- 🚫 ベンジン・シンナー・酸・アルカリ系洗剤(漂白剤)などは絶対に使用しないでください。変形・変色・変質するおそれがあります。
- ⚠ ガラス面はキズつけないように取り扱いしてください。金属タワシ・研磨剤入り洗剤などはガラスをキズつける原因になります。ひどい汚れ又は落ちにくい汚れは、薄めた中性洗剤に浸した柔らかい布をかたく絞って拭き取ってください。又、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- ⚠ 扉の開閉にあたっては、必ず取手を持って操作してください。取手から手を離したり、扉の先端に手を置くと、扉が急に閉まったときに、指を挟み、思わぬケガをするおそれがあります。
- ⚠ 扉の開閉速度は、扉重量及び施工状態によりばらつきがあります。あらかじめご了承ください。<条件により以下のように閉じ込み速度にバラつきが発生することがあります。>
 - ・閉める速度によるバラつき
 - ・施工状態によるバラつき
 - ・周囲の環境・使用環境によるバラつき
 - ・扉重量によるバラつき

⚠ 施工上の注意

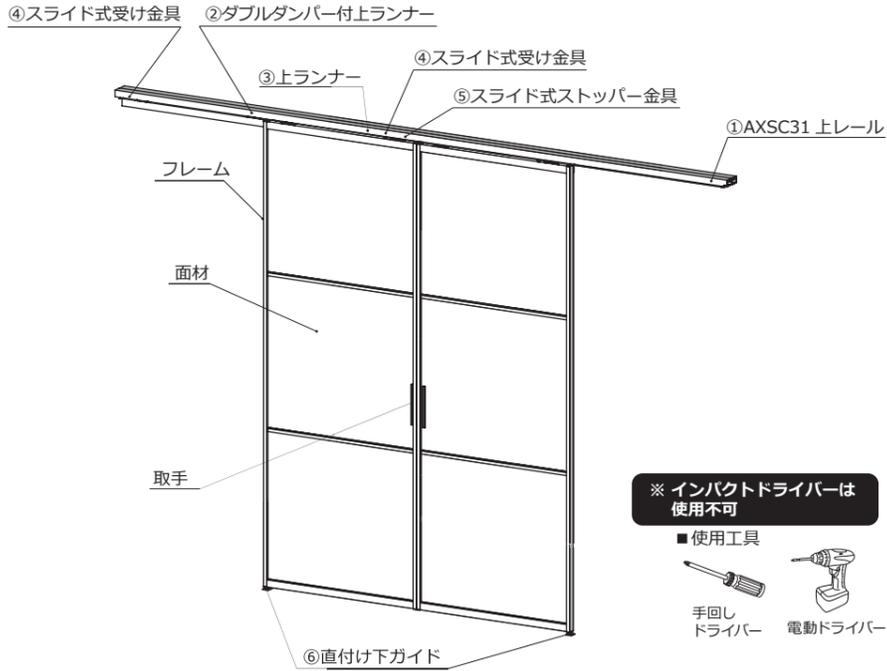
「物的損害が発生するおそれがある」内容

- 上吊りタイプなので、天井側にかかる荷重が最大 200kg になります。必ず構造計算のうえ、躯体に十分な強度をもたせて施工してください。
- 🚫 上レールは傾き・ねじれ・ビス・ネジの閉めすぎによる変形が無いように取付けてください。
- 🚫 湿気の多い所や雨に濡れた状態で施工・保管はしないでください。本体の反りや作動不良、変色の原因となります。
- ⚠ 本商品は仕上がり完成品ですので、ひっかき傷・打痕などには十分気をつけてください。
- ⚠ 必ず平滑な天井または枠に取付けてください。天井または枠に凹凸があると製品の破損につながるおそれがあります。
- ⚠ 天井または枠の水平・垂直を確認してから取付けてください。扉が開まらない原因となります。
- ⚠ 組立設置完了後は、扉のたつきや、金具のゆるみや、壁や床等への接触、金具同士の接触がないことを必ず確認してください。扉、又はFIXが落下し、ケガをするおそれがあります。
- ⚠ 表面が汚れた時は、やわらかい布に中性洗剤を水でうすめたものを含ませて拭き取ってください。
- ⚠ 扉・枠・金具に工具をぶつけたり、運搬時に引きずらないようにご注意ください。扉が開まらない原因となります。
- ⚠ アルミフレームは傷つきやすいので施工時に傷つけないように注意してください。
- 🚫 インパクトドライバーは使用しないでください。調整は手回しドライバーを使用してください。
- ⚠ 扉の調整で、扉を上げすぎると下部ガイドに扉がかからなくなるおそれがあります。その場合は再度高さを調整してください。
- ⚠ 必ず強度のある天井または枠に取付けてください。取付部の強度が不足している場合は落下の原因となります。
- ⚠ 扉下部と床の隙間は13(+4/-1)mm以上あけてください。下部ガイドと扉がこすれ作動不良の原因になります。
- ⚠ 商品の置き方や保管は、湿気や直射日光のあたる場所を避け、床面が水平な場所に立てかけて保管してください。
- ⚠ 建築完了まで、養生材などで本体及び枠の養生をしてください。直接、粘着テープなどは貼らないでください。
- ⚠ 建築完了まで、扉の表面保護のビニールは剥がさないでください。
- ⚠ 施工前・施工後にレールの中にゴミ・くずがないか確認してください。

1 各部の名称

◎クアドロスリム

2枚引き分け引き込み



※イラストは横棧有デザインになります。

■使用金具一覧（組立前に必ずご確認ください。①～⑧の番号は設置の際に参考にしてください。）

| レールセット | | | | |
|--|------------------------------------|----------------------------|------------------------------------|---------------------------|
| ①AXSC31上レール 33 44 1本 | ②ダブルダンパー付上ランナー 389 2個 | ③上ランナー 70.5 2個 | ④スライド式受け金具 50 20 4個 | ⑤スライド式ストッパー金具 20 2個 |
| ⑥直付け下ガイド 22.5 32 18.5 32 2個 | ⑦取付けビス ナベT.P4×25 ※下ガイドと同梱(4本入り) | ⑧取付けビス ナベT.P4×35 1袋8本入り | その他 木口キャップ 4個 ※扉に取付けています。 | |

2 設置前の注意・確認

《設置前のご注意》

- 重量のある商品や荷姿の大きな商品があるため、受取りの準備をお願いします。また、商品の品質確保のため、搬入は必ず手運びで行ってください。
※ 軒下渡しとなります
- 商品の搬入経路を確保してください。
- 商品を開梱して、外観に損傷がないことを確認してください。
※ 設置後の損傷は保証対象外となります。
- 引渡し完了まで、養生材などで商品を養生してください。
※ 養生テープは商品に直接貼らないでください。

《設置前の確認》

- 設備位置が図面どおりか、以下の項目を確認してください。
- 設置場所の間口寸法・床の水平・壁の垂直・コーナー部の直角度
※ 水平・垂直・角度などの精度が出ていないと仕上がが悪くなり、使用時の安全性にも影響します。
- 窓枠や建具の位置および寸法

【取付用下地について】

下記の内容は必ずお守りください。使用者などが外傷を負う危険があります。



レールを取付けることができる十分な幅を確認してください。

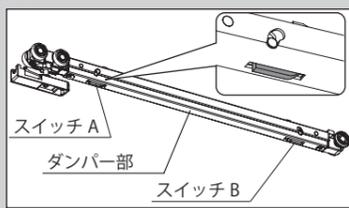
レール及び扉を支えることができる、十分な強度のある硬い木材であることを確認してください。

3 製品取扱上の注意

《製品取扱上のご注意》

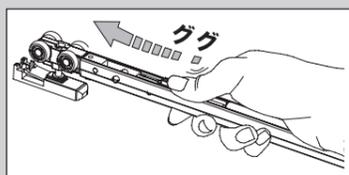
- 使用金具の②ダブルダンパー付上ランナーは内部にダンパーを内蔵しています。扉の取付け前後に必ずダンパーの状態を確認してください。
□ にチェックを入れて確認してください。

- ②ダブルダンパー付上ランナーをレールにセットする前に、ダンパー部のスイッチが図のようになっているか確認してください。
スイッチはダンパー部より飛び出しています。

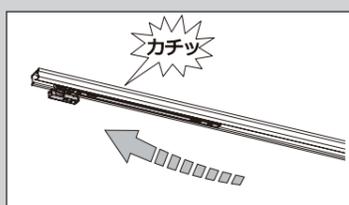


※スイッチは、A・Bあります。

- スイッチが出ていない場合は、図のようにスイッチを引き出してください。



- ①上レールを固定し、④スライド式受け金具の取付け後、図のようにソフトクローズ機能の確認を行ってください。
②ダブルダンパー付上ランナーをレールの左右端部分付近まで動かします。ソフトクローズ機能が働き、②ダブルダンパー付上ランナーがゆっくりと動きます。もし、この時にソフトクローズ機能が作動しない場合は、カチッという作動音がするまで強めに端の方へ動かしてください。②ダブルダンパー付上ランナーを戻して、再度ソフトクローズ機能が正常に作動することを確認してください。



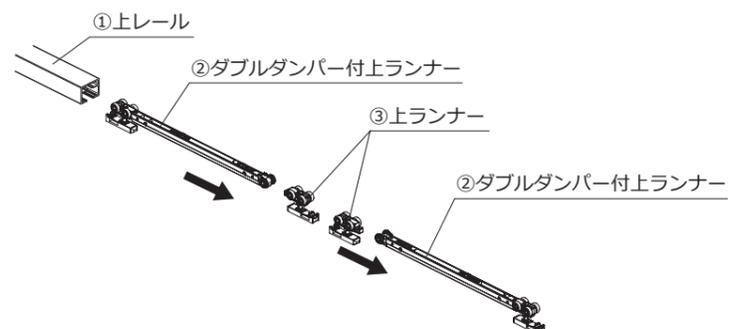
4 設置手順



取付け時には壁や扉に汚れやキズが付かないように養生をして保管してください。
扉を持つ場合は、必ず扉の側板両側部分を持ってください。
(左右・上下の片側だけを持つと外れて扉が落下し、ケガをするおそれがあります)
ビス・ネジ固定は、締めすぎによる空まわりをしないようにしてください。

1、部品の準備

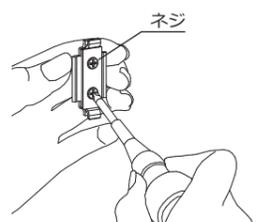
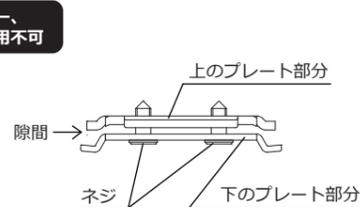
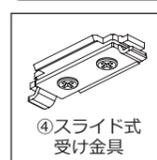
- ①上レールから②ダブルダンパー付上ランナーと、③上ランナーを抜いてください。
※オプション品の引き戸用縦枠を使用する場合は、別紙引き戸用縦枠用の組立説明書を参照してください。



- ④スライド式受け金具、⑤スライド式ストッパー金具の取付け準備をします。

下図のようにネジを緩め、上プレート部分と下プレート部分に隙間を作ってください。隙間を作ることでレールへの取付けがスムーズに行えます。
※⑤スライド式ストッパー金具も同じ手順で準備を行ってください。

※インパクトドライバー、電動ドライバーは使用不可



2、上レールへの金具の取付け

レールへ金具を差し込みます。

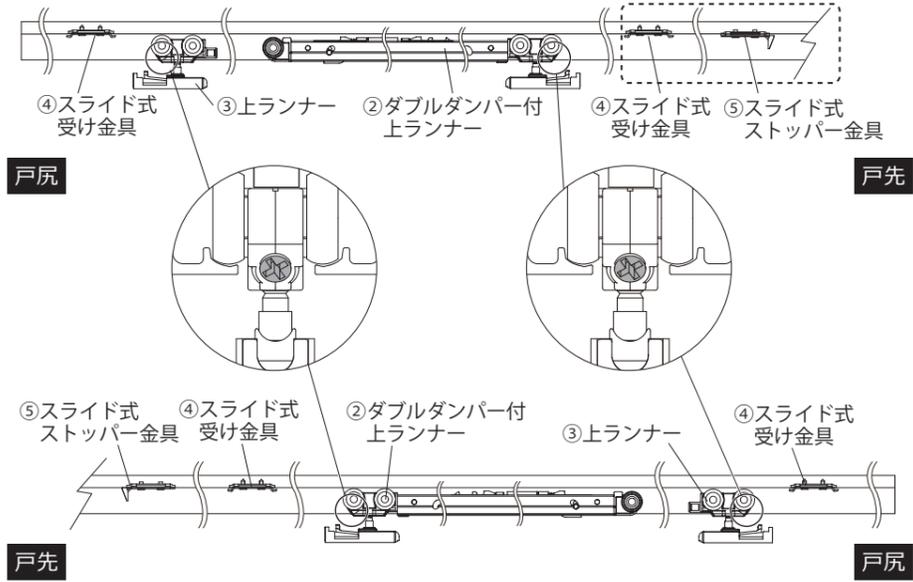
レールの端面から、それぞれの金具を下記の順で入れます。

④スライド式受け金具 → ③上ランナー → ②ダブルダンパー付上ランナー → ④スライド式受け金具 → ⑤スライド式ストッパー金具 → ⑤スライド式ストッパー金具 → ④スライド式受け金具 → ②ダブルダンパー付上ランナー → ③上ランナー → ④スライド式受け金具

※上レールと上ランナーの向き、受け金具の差し込み位置に注意してください。

※下図を参考に取付けてください。

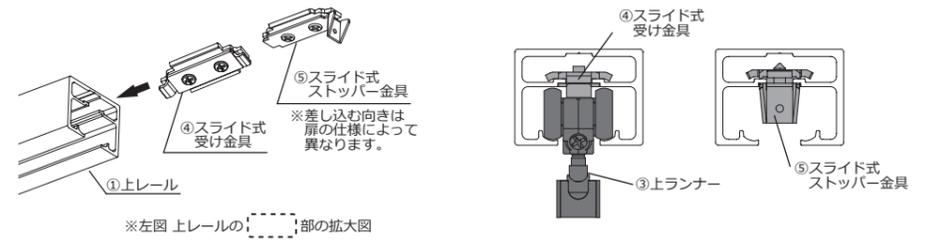
《各金具の差し込み順詳細》



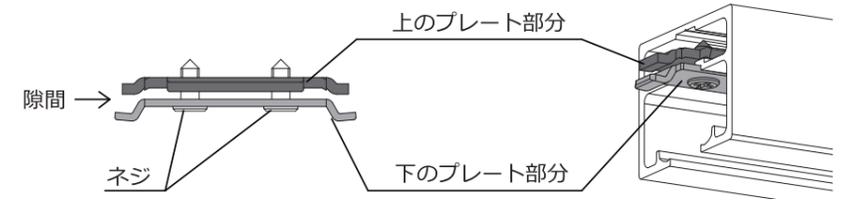
扉調整用ネジが扉外側へ向くように入れてください。
扉調整用のネジが内側に向いてしまうと上下調整が出来なくなります。



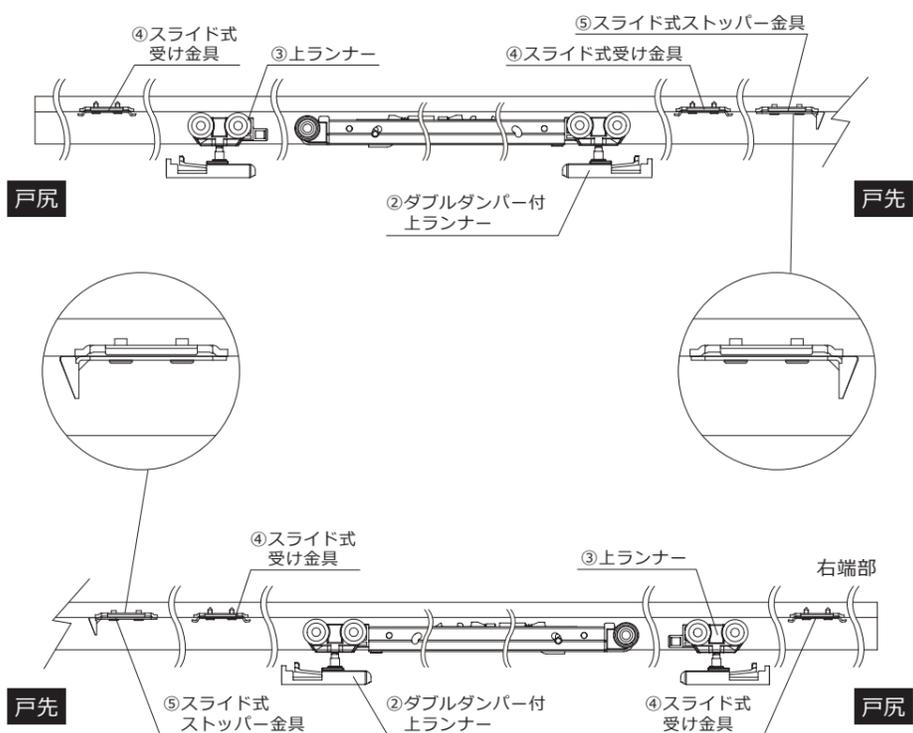
《受け金具の差し込み位置詳細》



スライド式受け金具の間に隙間を作らずにそのまま差し込んでしまうと、ソフトクローズ機能が作動しない原因となります。
必ず、上のプレートと下のプレートに隙間を作り、レール中段へ差し込むように取付けてください。

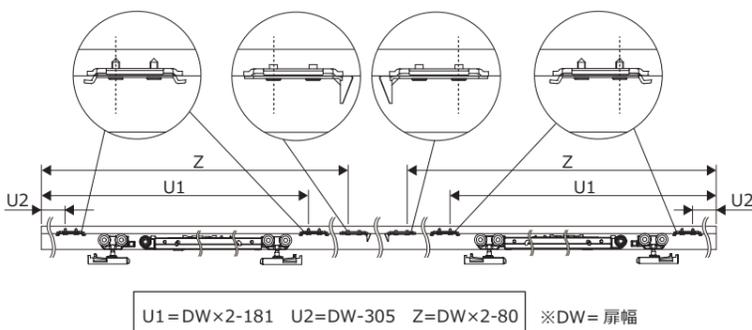


《各金具の向き詳細》



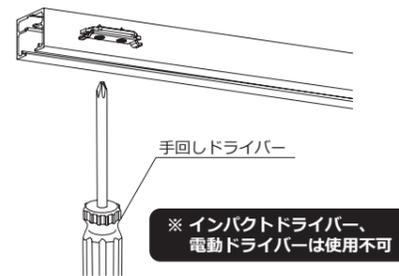
スライド式受け金具及びスライド式ストッパー金具の取付位置の確認をします。

④スライド式受け金具、⑤スライド式ストッパー金具の取付位置を計測します。



スライド式受け金具及びスライド式ストッパー金具を仮固定します。

④スライド式受け金具、⑤スライド式ストッパー金具を上レールに仮固定します。



スライド式受け金具は必ず所定の位置に設置を行ってください。
誤った位置に設置すると扉が閉まらない又はソフトクローズ機能が作動しない原因となります。



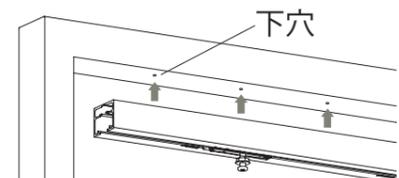
3、上レールの取付けと金具の移動

①下穴を開けます。

レールを取付ける前に、取付位置に下穴を開けると取付けしやすくなります。
(推奨下穴はφ3)

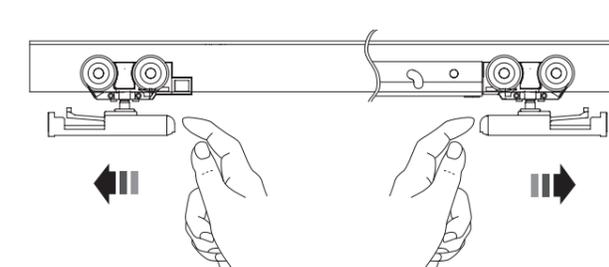
②上レールの取付け

①上レールを天井または枠に⑧取付けビス ナベ T.P4 × 35 にて固定します。



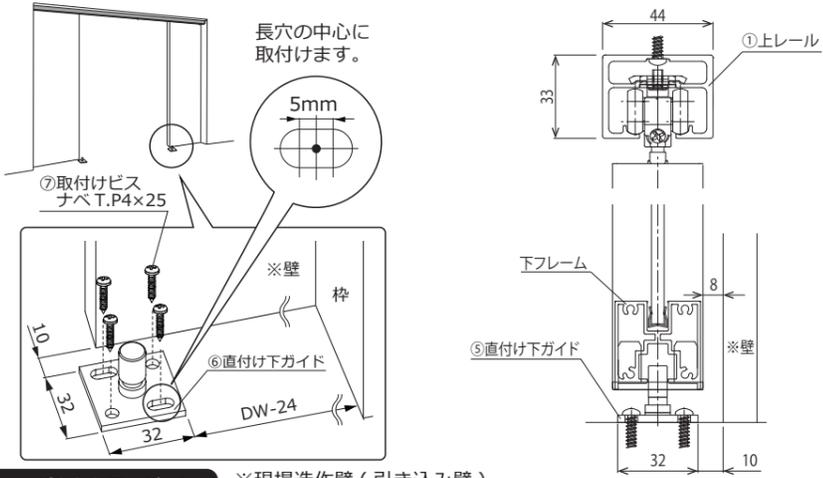
③上ランナーの移動

上ランナーを扉の外側に寄せます。



4、直付け下ガイドの取付け

床に、⑥直付け下ガイドを⑦取付けビス ナベ T.P4X25 にて固定します。



※インパクトドライバーは使用不可 ※現場造作壁（引き込み壁）又はクアドロ FIX



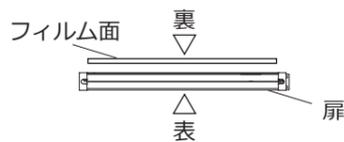
扉と床の隙間13(+4/-1)mmは必ず守ってください。この寸法を守らない場合、扉が直付けガイドから外れる、又は扉が開閉できない原因となります。下ガイドの床がカーペットの場合については、木端等で土台を作成してしっかりと固定してください。



5、扉の吊り込み（取付け）

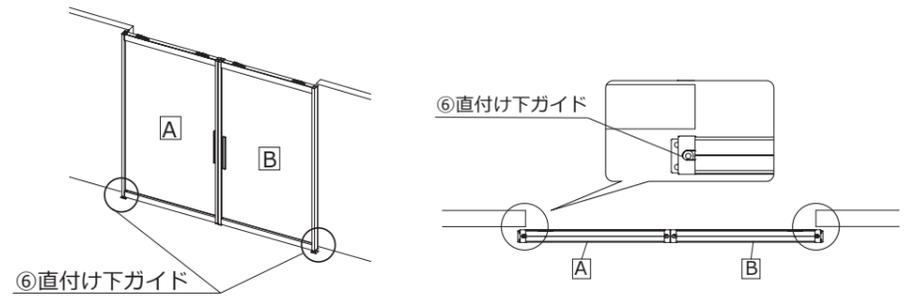
①扉の上下・裏表の確認

扉の上下・表裏を確認します。フィルム面というシールが裏側になります。 ※アルファベット記号が付いている面が扉の表側です。



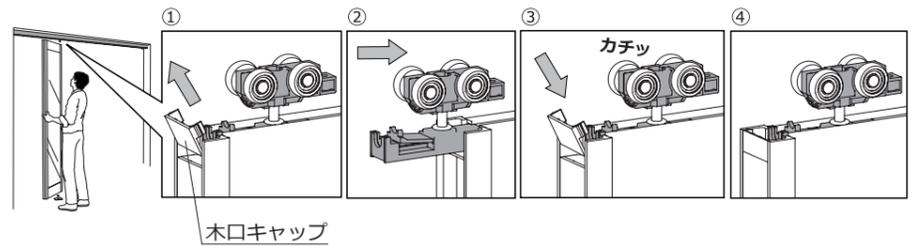
②扉 A,B の吊り込み（取付け）

扉 A,B 下部の溝部に、⑥直付け下ガイドを合わせて吊り込みます。



③上ランナーの固定

扉の上木口に取付いている木口キャップを外し、上ランナーをカチッと音が鳴るまでスライドさせます。上ランナーの取付け後、再度木口キャップを取付けます。 ※扉の全荷重を下ガイドに乗せないでください。破損の原因になります。 ※上ランナー取付け後、扉が正しく固定されているかを確認してください。 ※木口キャップはあらかじめ扉に取付いています。

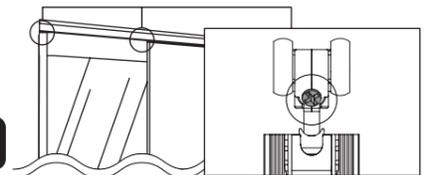


《扉の調整》

上ランナー木口面のネジを手回しドライバーで回し、扉とレールの隙間を調整してください。

- 上下調整 上 4 mm 下 1mm

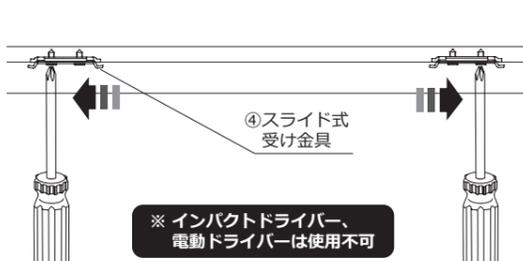
※インパクトドライバー、電動ドライバーは使用不可



6、受け金具・ストッパー金具の本固定

①スライド式受け金具とスライド式ストッパー金具の調整と本固定

扉のソフトクローズ機能が作動する指定の位置に、金具の位置を調整し、固定します。



※インパクトドライバー、電動ドライバーは使用不可

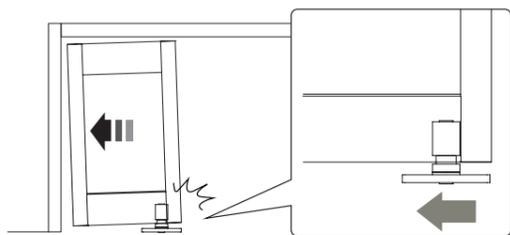


しっかりと固定してください。固定が緩い場合はソフトクローズ機能が作動しない場合があります。また、ランナー破損の原因となります。



②直付け下ガイドの調整方法

①の微調整に合わせて、⑥直付け下ガイドも調整します。プレートの長穴の範囲で調整し、丸穴に⑦取付けビス ナベ T.P4X25 で固定します。



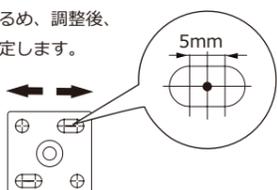
《直付け下ガイドの調整》

微調整が必要な場合は、⑥直付け下ガイドの位置を調整してください。

- 左右調整 (± 2.5)

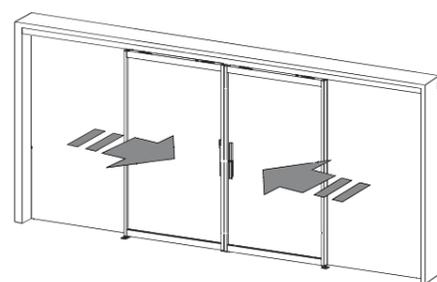
※インパクトドライバー、電動ドライバーは使用不可

丸穴のビスをゆるめ、調整後、ビスを締めて固定します。



7、動作確認

扉を開閉し、クローザーが作動することを確認してください。



扉の開閉時ソフトクローザーが作動することを確認してください。

5 お手入れ方法

■扉のお手入れ

《通常のお手入れ》

お手入れは柔らかい布でから拭きしてください。

《汚れているとき》

汚れている場合は布またはスポンジに薄めた中性洗剤をつけて、汚れを落としてください。

水を含んだ布で洗剤をとり、必ず乾いた布でから拭きしてください。

長期間清掃しないままにしておきますと、表面に付着した汚れはしみや腐食の原因となります。汚れが軽いうちに清掃してください。



傷や錆びの原因になるので、スチールタワシ、磨き粉、ベンジン、シンナーは使用しないでください。



お手入れをする時は必ず手袋等を着用し保護してください。アルミは水跡が残りやすいので、日ごろから柔らかい布で良く拭いてください。

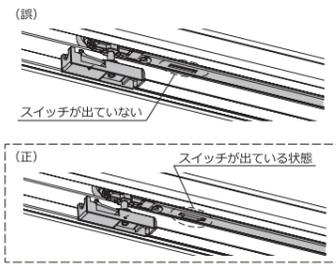


本製品はアルミ製ですが、取り扱いによっては錆びることがありますので、ご注意ください。

6 困った時の対処方法

《ダンパー復帰方法》

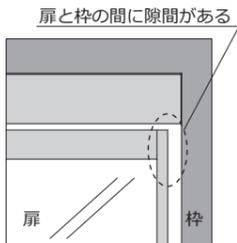
ソフトクローズ機能が効かなくなったと思った場合、以下の内容を行ってください。
 扉を取付け後、②ダブルダンパー付上ランナーのダンパー機能が作動しないときは、まず「スイッチ」を確認してください。
 下図のようにスイッチが出ていない場合は、ダンパー自動復帰作業が必要です。



- ①開方向、閉方向に強く押し付けてください。
- ②ダブルダンパー付上ランナーのダンパー部が、受け金具を乗り越え扉が枠にぶつかります。

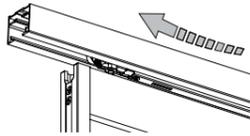


- ②扉が閉じたとき、開いたときに扉と枠に隙間が無いことを確認してください。
 隙間が開いているときは、もう一度自動復帰作業①を行ってください。



! **!** スライド式受け金具が所定の位置についていないと強制復帰ができません。

扉吊り込み後、ゆっくりと扉を閉じ、ダンパーが作動することを確認してください。正常に作動しない場合は、扉をカチッというまで閉じ、再度確認してください。



7 アフターサービス

保証書

| | | | |
|--------|--------------------|-----|-----|
| 品名 | クアドロスリム | お客様 | お名前 |
| 保証期間 | お買い上げ日から 1年 | | ご住所 |
| お買い上げ日 | 年 月 日 | 工事店 | 電話 |
| | | | 店名 |
| | | | 電話 |

※上記はおお客様でご記入をお願い致します（サービスを依頼される際にお役に立ちます）

1. 正常なご使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無償にて修理または部品を送付致します。
2. 保証期間内でも、次の場合は有償扱いとなります。
 - ア) 使用上の誤りおよび不当な修理や設置による故障および損傷
 - イ) 正しい使用方法をお守りいただけなかった場合の故障および損傷
 - ウ) 弊社以外の組立設置における、組立設置時の不注意または過失による故障および損傷
 - エ) 弊社以外の組立設置において、組立設置資料どおりに取付けを行わなかった場合や、分解改造などに起因する不具合。
 - オ) 設置床面の凹凸に起因する不良や、それに伴うメンテナンス作業（扉の丁番調整など）
 - カ) 本来の目的以外の用途や一般家庭用以外（例：車両・船舶への搭載、業務用など）に使用した場合の故障
 - キ) お買い上げ後の取付場所の移動による故障および損傷
 - ク) 天災地変など不可抗力による故障および損傷
 - ケ) 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）および外部ノイズなどに起因する不具合
 - コ) 消耗部品（照明の管球・グローランプ・バッキン・カートリッジなど）の劣化に伴う故障および損傷
 - サ) 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品本体以外の不具合に起因する製品の不具合および表面仕上げの色あせなどの経年変化、または使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の不具合
 - シ) 砂やゴミ、給水・給湯配管のサビなど、異物流入および水あかの固着に起因する不具合
 - ス) 海岸付近や温泉地など、地域における腐食性の空気環境・公害に起因する不具合
 - セ) 温泉水や井戸水など、水道法に定められた飲料水の化学基準に適合しない水を供給したことによる不具合
 - ソ) 汚れやメッキ部品のサビ、カビなど、通常のお手入れ不足による不具合
 - タ) ねずみ、昆虫など動物の行為に起因する不具合
 - チ) 凍結による故障および損傷
 - ツ) 材料の性質上生じるもの（木・石など自然素材を使用したもの、または自然の風合いを狙った商品の微妙な色目や表面状態のばらつきなど）
 - テ) タバコの火、商品を傷める薬品（有機溶剤、塩素系洗剤、強酸・強アルカリ等）の使用により発生した損傷
 - ト) 硫黄やアルカリ分を含む入浴剤による損傷
 - ナ) 建物完成後、入居までの間に管理などの不備により生じたもの
 - ニ) 仕上げキズ等で引き渡し時にお申し出がなかったもの
 - ヌ) 保証書の提示が無い場合
 - ネ) 保証書にご購入者様情報、お買い上げ年月日など必要事項の記入の無い場合、あるいは字句の書き替えられた場合
 - ノ) 離島又は離島に準じる遠隔地への出張修理を行う場合の出張に要する実費
3. 本書は日本国内にて有効です。
4. 本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

廃棄処分について

廃棄処分の際は、必ず専門業者に依頼してください。

miratop

株式会社 ミラタップ miratop inc.

- お客様相談センター 受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。
<https://www.miratop.co.jp>
 TEL: 0120-468-838 FAX: 0120-382-096

